

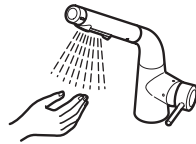
警告



必ず実行

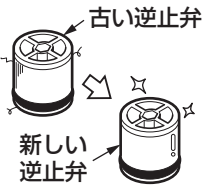
湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



逆止弁は安全を確保するために定期的に交換する
(P.34を参照してください)

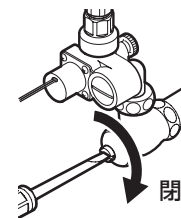
逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う
また、湯側駆動部が熱くないことを確認する

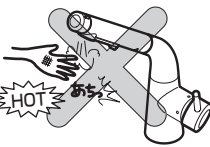
(P.29を参照してください)

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



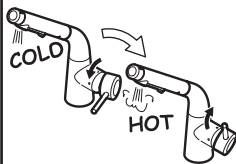
給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にする

給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。給湯圧力を加圧する場合でも、必ず給水圧力より低くするか、同圧にしてください。



湯を使うときは、必ず水側から開栓し、その後ゆっくり湯側へ回して好みの温度に調節する

湯側で開栓すると、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

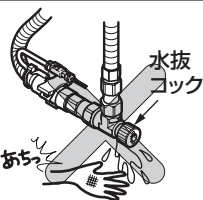


禁止

寒冷地用

水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



注意



禁止

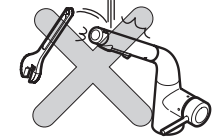
シャワーヘッドを水につけない

水没させると、タッチスイッチ部に水が浸入し、故障の原因となります。また、吸気口などから水中のごみや洗剤を吸い込み、詰まりの原因となります。



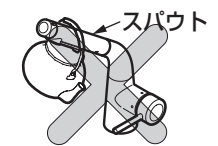
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

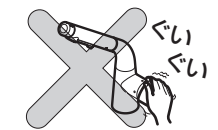


スパウト先端に重いものをぶら下げたり、力をかけて回したりしない

摩耗・変形などでパッキンの寿命が短くなり、水を出すときにスパウト部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。



レバーハンドルに必要以上の強い力を加えない
故障や水漏れの原因になります。



シャワーホースやホース引出口に水をかけない

シャワーホースやホース引出口に水がかかると、シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。



シャワーホースを引き出して使うときは、シャワーホースを水につけない

シャワーホースを水につけると、シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。



シャワーホースを引き出したまま放置しない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

